

■ 県内分布

日本海側、太平洋沿岸には比較的ふつうにみられる。

■ 国内分布

本州、四国、九州、南西諸島

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	○
				希少	○

■ 特記事項

暖海性の種で、この海域では希産。

■ 保護上の留意点

-

■ 種の概要

体の下部はホンダワラ類のSargassumなどの体上に匍匐し、腹面の所々から付着器を生じる。体上部は遊離して伸長し、扁円で、その両側から披針形から卵円形の短条を互生する。短条は長さ0.5-1mmで幅はやや狭く、頂端はくぼむか、鈍円で、若いときには毛状枝を頂端に持つ。短条の葉面には中央に1列細胞の中肋があり、1層細胞からなる。枝の先端は背面の方に巻き込んでいる。長条は短条の腋から出る。色は鮮紅色で、乾燥するとき紙にあまりよくつかない。